

平成 23 年 1 月 23 日

反貧困ネットワークあいち 御中

みんなの党
栗師寺みちよ

公開質問状に対するご回答の件

拝啓、貴下、益々ご清栄のこととお慶びも申し上げます。

平素は、みんなの党および栗師寺みちよの政治活動につきまして、格別のご理解を賜り誠にありがとうございます。

さて、早速ではございますが、過日お問い合わせいただきました掲題の件に関しまして下記の通り、私の見解をご回答させていただきます。なにとぞご査収の程、よろしくお願い申し上げます。

1. 若者の就職問題について

昨今の景気低迷によって、新卒者の就職率低下が社会問題と浮上していますことは、私も大学にて教鞭を取る身としても心を痛めている問題のひとつです。この対策については、本質的には景気が高揚し、新規雇用を増やすことが一義的な解決方策であると考えておりますが、企業に対して卒業後数年の既卒者については新卒者同様に取り扱うことを働きかけたいと思っております。

2. 住居に関する問題について

県営住宅の応募倍率が非常に高く、今すぐ住みたい方にとって重要な問題であることを認識いたしました。残念ながら県営住宅の新設につきましては、土地の買収から住宅の建設までご指摘の通り、議会の承認含めて時間がかかりますので、現状空室となっている既存の民間の賃貸住宅に県営住宅と同様の条件にて借りることができるような助成制度などを県としても検討いたします。

3. 生活保護に関する問題について

いわゆる「社会的弱者」に対するセーフティネットは、御会ご指摘の通り、生活保護を受けている方に対する最後の砦であることは間違いありません。しかしながらご指摘のような「有期保護」であったとしても、その方々が生活保護が必要な状態であれば引き続き、保護を受けられるわけですから、大きな問題とまではいえないと思います。また国も県も社会保障費の増大している状況のなかでは、一部の負担をしていただくことも視野に入れて検討していくべきだと考えております。

4. 愛知県の税財政について

他候補の提唱している減税は、基本的にバラマキといっても過言でない減税です。私の提唱する減税は企業などの投資を促すことを目的としております。従いまして、このような減税に当たっては、社会福祉予算の削減にはつながらないと考えております。

5. 「貧困」が子供に及ぼす影響について

就学支援につきましては、最低でも全国平均以上にはしていくべきだと考えております。

6. 自殺対策

貧困問題の深刻化が自殺の原因の一部であることは推察されますが、どの程度まで貧困問題と相関関係があるのか即答できる資料・データをもっていないため、本件につきましては、ご回答を控えさせていただきます。

7. 総合的な貧困対策について

今後の社会保障政策において食料自給率を向上させることは大変重要なことだと思っております。そこで私の具体的な提案ですが、食糧自給率をあげるために、働きたくても職のない方々に、農業についての勉強や職業訓練を受けてもらい、放棄農地や耕作がされていない田畑を県が借り受け、やる気のある貧困にあえぐ方々に耕作をしてもらい、月々の賃金を県が支払うような仕組みを作りたいと考えております。

敬具